

令和4年度 事業計画書

1 基本方針

新型コロナウイルスは、令和2年1月に道内で初めて確認され、2月末には感染拡大防止のため不要不急の外出や移動を控えるよう緊急事態宣言が道知事より発令されました。その後のまん延防止対策やワクチン接種の効果もあり感染者数が減少に転じています。

この2年の間、当センターでは計画していた講習会、研修会をはじめ、多くの事業が実施出来ない状況におかれましては。

しかしながら、シルバー人材センター事業は、高齢者にふさわしい臨時的・短期的、軽易な就業と派遣による働き方を通じて社会参加や地域の活性化に努めながら「生涯現役社会」の実現を推進するなど大きな役割もあります。

今年度においても引続き、就業機会の確保並びに登録会員の拡大を最重要課題と位置づけ、役職員一体となって取り組みを推進します。

また、コロナ禍により実施することが困難だった講習会や研修会の開催を目指しながら、ボランティア活動の実施やチラシ等の配布を通して事業の普及啓発と安全就業の徹底、マナーの向上に努めてまいります。

2 事業実施計画

(1) 普及啓発と就業機会の拡大

- ①報道機関等へ情報提供し、事業の普及啓発に努めます。
- ②センター広報誌「シルバーだより新ひだか」を複数回発行し、関係機関への配布と配置を行い、情報の発信と併せ就業機会の確保を図れるよう取り組みます。
- ③折込みチラシの配布やホームページ上での情報公開に努め、事業の普及啓発と就業機会の拡大を図ります。
- ④10月の普及啓発促進月間の一環として第3土曜日を「シルバーの日」と設定し、会員、役職員共にボランティア活動を行い、普及啓発に努めます。
- ⑤職員による就業現場のパトロールと併せ、発注者訪問を通して就業拡大を図ります。

(2) 会員の入会促進

- ①センター広報誌を関係団体等各所へ配布、配置して新規入会の促進を図ります。
- ②報道機関や町広報担当課に記事の掲載を依頼して、入会の促進と併せ事業の普及啓発を目指します。
- ③ハローワークとの連携を深め、センターパンフレット、広報誌の配置を通して、入会促進に役立てます。

- ④希望する方に随時説明会を開催し、新規会員の獲得に努めます。
- ⑤折込みチラシを通して派遣による就業等のPRにも努め、多様な働き方を望む会員の拡大を図ります。
- ⑥会員、役職員による「ロコミ運動」を継続して行い、会員増強を目指します。

(3) 安全就業の推進と事故防止

- ①安全委員会と安全就業推進員が一体となって就業現場のパトロールを定期的実施し、事故の防止に努めます。
- ②就業現場の安全確保と保護具の着用、機械点検の徹底を要請し、安全就業の促進と事故防止に役立てます。
- ③就業途上の事故を防ぐため、社員総会、講習会等あらゆる機会を活用し、交通安全を呼び掛けます。
- ④万一の事故発生に備え、シルバー団体（傷害・賠償）保険と熱中症見舞金制度に加入します。

(4) 知識・技能・技術とマナーの向上

- ①各種講習会、研修会を開催し、知識・技能・技術の向上と共にマナーの向上を図り、後継者の育成にも努めます。
- ②発注者に対し、就業の前後において聞き取りを行い、マナーの向上を目指します。
- ③センター広報誌上に発注者の声等の情報を掲載し、会員の意識向上に役立てます。

(5) 派遣事業の実施と拡大

- ①多様な働き方を確保するため、臨時的、短期的並びに軽易な就業による派遣事業について継続して取り組みます。
- ②事業所との連携、協議を深め、就業先の拡大を目指します。
- ③チラシ配布や広告掲載を通して派遣による就労を希望する新会員の入会促進に努めます。

(6) 事務局体制の強化

- ①事務局内の情報交換と職員相互の連携を図り、風通しの良い職場環境作りに努め、お客様に対してより一層のイメージアップを進めます。
- ②全シ協・道シ連並びに道南ブロックの講習会や研修会、担当者会議に積極的に参加し、資質の向上に努めます。
- ③上部団体主催のオンライン会議等への参加を通して職員の知識向上を図ります。

(7) 関係機関との連携

新ひだか町をはじめ、北海道、公共職業安定所や全シ協、道シ連、道内各センターなど関係機関・関係団体との連携を密にして、事業の円滑な推進に努めます。